

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 4 年 12 月 28 日

設置・運営主体	株式会社 さくらさくみらい		
設置主体			
経営主体			
事業所名 (施設名)	さくらさくみらい 蕨	種別	保育所
所在地	〒 335 - 0004 埼玉県蕨市中央1 - 20 - 15		
電 話	048-452-8721		
FAX	048-452-8731		
Email	warabi@sakura-39.jp		
URL	https://www.sakura-39.jp/hoiku/warabi/		
施設長氏名	大島 みゆき		
調査対応担当者	森村真実 倉本友樹 (所属、職名：本部 運営ユニット)		
利用定員	60 名	開設年	平成 28 年 4 月 1 日
理念・基本方針	<p>保育理念：子ども・保護者・職員の笑顔あふれるあたたかい「おうちのようなほいくえん」 保育方針：愛情をたっぷりと注ぎ、あわてず個性を伸ばす 保育目標：「心身ともに強い子ども」「明るく元気な子ども」「考える力を持つ子ども」「思いやりのある子ども」</p>		
開所時間 (通所施設のみ)	月曜～土曜：7：00～19：00 (18：00～19：00 延長保育)		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		3
1歳児	10	10	1		2
2歳児	10	10	1		2
3歳児	11	10	1		2
4歳児	11	11	1		1
5歳児	12	10	1		1
計	60	57	6	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		16 人	
うち	保育士	13 人	保健師・看護師 人
	栄養士・調理員	3 人	その他 () 人
非常勤職員数		3 人 (常勤換算 人)	
うち	保育士	3 人 (常勤換算 人)	
	保健師・看護師	人 (常勤換算 人)	
	栄養士・調理員	人 (常勤換算 人)	
	その他 ()	人 (常勤換算 人)	
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 人	非常勤： 人
	退職	常勤： 人	非常勤： 人
(3) 常勤職員(うち保育士・保健師・看護師)の平均年齢		歳 (30 歳)	
(4) 常勤職員(うち保育士・保健師・看護師)の平均在職年数		年 (4 年)	
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	1時間：400円
休日保育		
障害児保育	○(状況に応じて)	—
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名：)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 4 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

0 人

・ボランティアの業務

--

【実習生の受け入れ】

・令和 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士	人
介護福祉士	人
その他	人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	387.94 m ²	
	児童1人あたり	6 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	145.2 m ²	
	児童1人あたり	2 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	28年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

アンケートの実施。
運営委員会での意見交換等
日々のコミュニケーションを多く取り、必要に応じて個人面談の実施。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

CLiPという幼児教育。「子どもたちが遊びの中で学ぶ（Children Learn in Play）」の頭文字をとり、CLIPと読みます。教育として「教え込む」のではなく、様々な遊びを通じて、学びへのきっかけになる興味・関心をはぐくみ、子どもが主体的に学びの基礎に触れ、経験を積み重ねられる保育実践を行っています。

基本的な生活習慣を楽しみながら身に付けいけるような関わりを大切にしています。

「食べることは生きること」と考え、食事の時間が楽しくなるようなかかわりをしています。

絵本を大事にしています。読み聞かせや絵本との出会いを大切にしながら想像力や行動力、コミュニケーション力を花開かせる大切な役割を担っている絵本と考えています。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

1 回 （平成 30 年度）